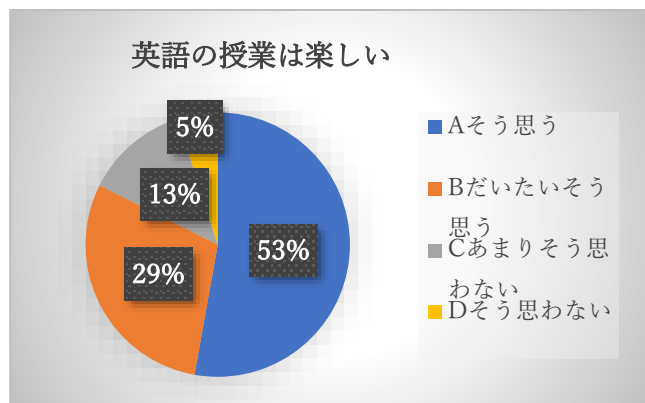


## 下諏訪北小学校 英語活動、英語教育について



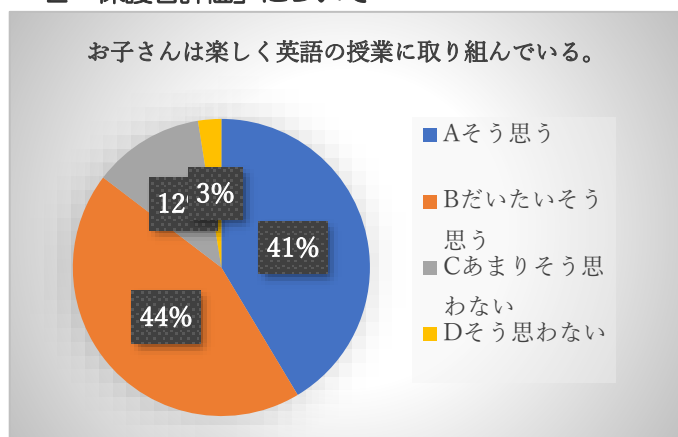
### 1 「児童の自己評価」 について

令和6年度児童アンケートで、3年生以上の児童では、「英語の授業は楽しい」と感じている児童が、「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせて82%となりました。「楽しい」と感じている児童は令和5年度より減った結果となりました。記述回答部分を見ると、「楽しい」の中身は2通りに分かれ、「英語でいろいろな人と話せるとうれしい」「知らない言葉を覚えるのが楽しい」など、英語そのものの楽しさを感じ

ている回答と、様々な英語を使ったゲームや歌、クイズなど、興味・関心をひく工夫された授業内容への魅力をあげている回答が見られています。一方で18%の児童が「楽しい」と思えない理由としては、「単語が覚えられない」「文型が難しい」「話すのが恥ずかしい」などの回答が見られています。一方、1,2年生では、ほとんどの児童が「英語の授業は楽しい」と感じており、どんなことにも意欲的に取り組もうとする発達年齢と授業内容の楽しさやE L Tの人柄に魅力を感じている様子が伺えました。個々に得意不得意はありますが、友だちと一緒に学ぶことで、「分かる」「できる」「もっとやってみたい」の気持ちが高まることを目指していきたいと思います。

(現在、5,6年生で英語が教科となり、教育課程上での他校との違いは、1,2年生が年間35時間英語学習を実施することのみとなっています。)

### 2 「保護者評価」 について



令和6年度保護者に実施したアンケートでは、学校で「お子さんは楽しく英語学習に取り組んでいる」と感じている保護者が「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせて85%となり、児童とほぼ同じくらいの保護者の方が自分のお子さんが楽しく英語を学習していると感じていることが分かります。テレビ等から聞こえる英語に関心を持つ姿や、児童から聞く学校での授業の様子からそのようにとらえていることが分かります。一方で、楽しく学習しているとは感じていない保護者が15%となっています。保

護者の方にも実際の英語学習の様子を知っていただきたいと考え、令和6年度も通常の参観日とは別に、2,4,6年生で普段の授業の様子を見ていただく英語参観日を実施しました。学級通信や学校だよりなどでも、より積極的に児童の英語学習の様子を保護者の方にお伝えできるよう努めています。

### 3 「関係者評価」 について

下諏訪町の子どもは、保育園時代から英語の歌やアルファベットに親しんできているため、1,2年生も英語の時間はとても楽しみながら学習に取り組むことができます。E L Tとのやり取りにも積極的です。地域の皆様や諸関係者の皆様にご来校いただく機会には、英語の授業の様子を見ていただけるよう時間割の調整も行いました。2,4,6年では英語参観日を設定し、日常の授業の様子を見ていただく機会ももちました。指導者の「Nice!」や「Good job!」などの声かけが、児童の自信ややる気にもつながる様子があるのはこれまでと変わっていません。様々な活動を楽しみながら、コミュニケーション、聞く・話す等、表現力の向上につなげていくことも目指していきたいと考えています。

今後も「児童」「保護者」「関係者」評価を日々の授業指導に生かすように取り組んで参ります。